

# 1 療育福祉センターの沿革

年	概 要	備 考
昭和 31 年	「県立整枝子鹿園」開園 入所定員 73 床	市立朝倉小中学校 子鹿園分室設置
昭和 34 年	入所定員 100 床に増床	
昭和 35 年	外来訓練指導開始	
昭和 38 年	母子入園（10 床）開始 入所定員 110 床に増床	県立若草養護学校設置 朝倉小中学校子鹿園分室廃止
昭和 39 年	「県立子鹿園」に改称	重度精神薄弱児扶養手当法（現在の特別児童扶養手当）制定
昭和 41 年	重度棟（現難聴幼児通園棟）新設（20 床） 入所定員 130 床に増床 外来訓練指導休止	特別児童扶養手当の対象拡大 （重度の身体障害を追加）
昭和 42 年		重症心身障害児施設が法制化 国立療養所（重心施設）設置
昭和 45 年		土佐希望の家設立
昭和 47 年		特別児童扶養手当の対象拡大 （内部障害等を追加）
昭和 50 年	園舎全面改築（現本館） 外来訓練指導再開	特別児童扶養手当の対象拡大 （障害程度の緩和）
昭和 51 年	看護宿舎全面改築 訓練用プール完成	
昭和 52 年	園児歯科診療開始 言語療法本格実施（専任言語療法士配置）	
昭和 54 年	作業療法本格実施（専任作業療法士配置）	養護学校教育の義務制実施 県立若草養護学校が旧春野町に移転（旧校舎は同校子鹿園分校となる）
昭和 55 年	外来歯科診療開始	
昭和 56 年		高知医科大学附属病院開設
昭和 57 年	新重度棟（現発達支援センター棟）新築	
昭和 60 年		子鹿園分校改築
昭和 61 年	子鹿像完成	障害基礎年金創設 障害児福祉手当設置
昭和 62 年	暫定定員 85 床（一般病床 60 床 重度病棟 20 床 母子棟 5 床）とする	
平成元年	園舎改修	第 2 希望の家設立
平成 2 年		
平成 6 年	暫定定員 58 床（一般病床 30 床 重度病棟 23 床 母子棟 5 床）とする 本館内部改修	
平成 8 年	小児科、リハビリテーション科新規標榜	
平成 9 年		幡多希望の家設立
平成 10 年	精神科新規標榜 センター化に伴う大規模改修	
平成 11 年	6 機関を統合し、「県立療育福祉センター」とする 入所定員 58 床（一般病床 30 床 重度病棟 23 床 母子棟 5 床）	
平成 14 年	一般病棟と重度病棟統合 入所定員 58 床（一般病床 53 床 母子棟 5 床）	
平成 15 年	唇裂・口蓋裂の療育相談会開始（以後、毎年実施）	支援費制度開始
平成 16 年	口唇口蓋裂診療開始	
平成 17 年		高知医療センター開設
平成 18 年	発達支援部（発達障害者支援センター）設置に伴い新重度棟（現発達支援センター棟）改修 調理・清掃・洗濯・設備管理業務等のアウトソーシング	障害者自立支援法、改正児童福祉法施行（措置入所から利用契約による入所に）